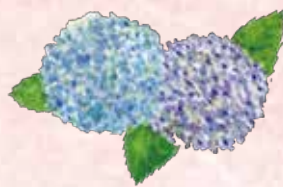


会 員 通 信



2017.06 Vol.25

- アンケート結果 …………… 1・2
- 第19回研修会 案内 …………… 3
- 漢字まなび活動の紹介 …………… 4
- 漢字クイズ …………… 5
- サポーターリレーコラム …………… 6
- 初めて1級に合格しました …… 7
- 投稿募集 …………… 8

【ネットワーク会員対象 アンケート】

ネットワーク会員に 聞きました!

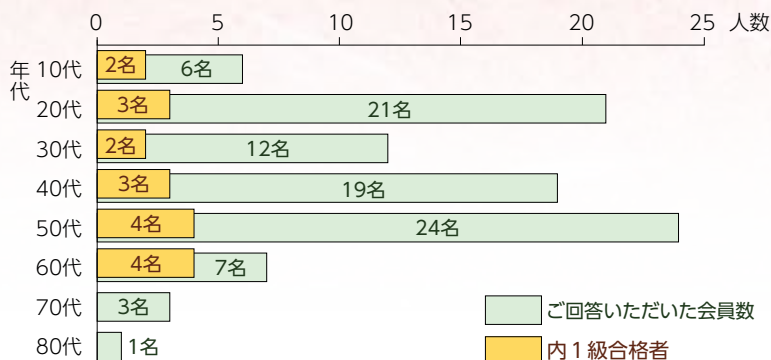
漢検生涯学習ネットワーク会員通信リニューアルを記念し、会員を対象にしたアンケートの結果を2ページにわたって掲載します。

今回のテーマは

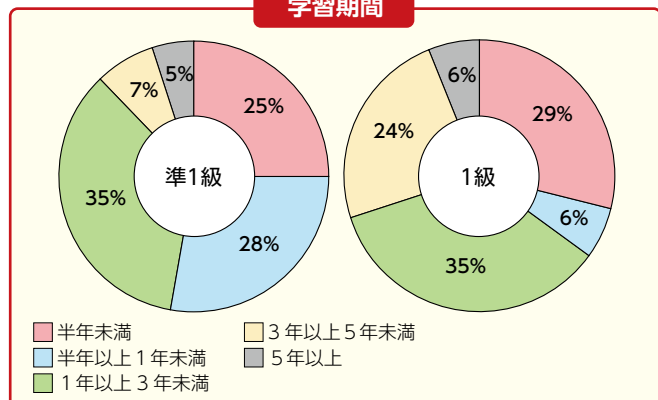
「準1級・1級合格時の学習期間について」です。

まずは、準1級・1級合格時の学習時間から見ていきましょう。

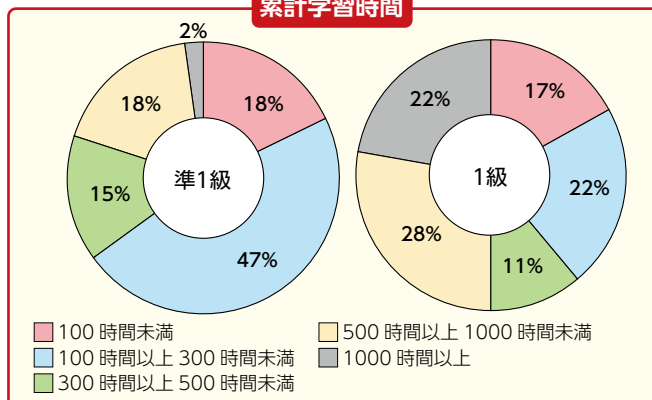
ご回答いただいた会員93名の方の年代別内訳



学習期間



累計学習時間



準1級は短期間で集中して合格された方も多くですが、5割程の方がお仕事や学業と両立しながら1年以上取り組まれていました。1級の学習は6割以上の方が1年以上、3割の方が3年以上の期間取り組まれていました。

学習方法の工夫を伺ったところ、一番多かった答えは「隙間時間の有効活用」でした。

■ 隙間時間の使い方

- 勉強時間を固定せずに空いた時間にこまめに学習する習慣をつけていました。ランニング中は覚えたい漢字や四字熟語を書いた紙を持って走っていました。
- 常に問題集を持ち歩き、たとえ僅かな時間でも、窮屈な満員電車でも、問題集を開き勉強した。また、能率が大切なので、わざわざ紙に書いて勉強することはせず、頭の中でパーツを組み合わせるイメージトレーニングを中心に行った。
- 仕事の合間に気になった漢字を確かめられるように、単語帳を作成し携帯した。

- ポケット型の参考書と普通のサイズの参考書の二刀流で勉強をしていた。ポケット型の参考書は通学時に、電車の中で読んでいた。家では普通のサイズの参考書で勉強していた。隙間時間を大切にしていた。
- 覚えたい漢字を単語カードに書いて持ち歩き、食事中やトイレでも復習をしました。
- 漢検の勉強との両立のためだけではないが、勤務時間内に集中して仕事をし、家では勉強に集中できるようにした。また、外出時には参考書や電子辞書を必ず持って行き、何か気になるときはすぐに調べるようにした。

隙間時間として一番多くあげられていたのは、電車やバスでの通勤時間でした。

そのほか、お風呂、トイレ、食事、ランニングの時間なども有効活用している方がいました。

また、隙間時間には、すぐに取り出せるような大きさのカードや単語帳、小さめの参考書などを活用している方が多いようです。

【ネットワーク会員対象 アンケート】
ネットワーク会員に
聞きました!

合格の秘訣は「継続的な学習計画」にありました。

■ スケジュールの立て方

- 5時半に起床して、朝食までに勉強し、隙間時間に漢検要覧を頻繁に見る。夜は、辞典を読む。22時までには絶対に寝て、夜更かしはしない。
- 平日は2時間程度。休みの日は徹底的に勉強。週1日は全く勉強しない日をもうけました。
- 就寝前を自分一人で過ごすようにした(勉強時間の確保)。苦手をあぶり出し、単語帳に書き出して携行した。試験直前にたまたま怪我で入院した際、勉強道具を持ち込んでひたすら勉強した。
- 空き時間や通学時間を利用してこまめに参考書を開いてました。また、朝5時起きて1時間程度勉強というのもよくやりました。好きなことなので起きられるし、朝やると頭もスッキリ、達成感もあります。
- 主婦ですが、朝1時間・昼～夕方1時間、夜就寝前迄1時間で一日最大180分を目標にし、所用で勉強不可能の日は就寝前最低30分は確保し、出来る限り毎日行う事を目標にしました。

◆ 学習時間帯 (全員対象・複数回答可)

午前中(～12時)	38%
午後(12時～15時)	28%
夕方(15時～18時)	18%
夜(18時～)	69%

学習の時間帯で、一番多かったのはやはり18時以降の夜の時間帯でしたが、二番目は朝の時間帯でした。

今回のアンケートでも朝早く起床し時間を創出している方が多くいらっしゃいました。

ちなみに、長期間にわたる学習を継続するために会員の皆さんは以下のようにしてモチベーションを維持したそうです。

- 娘が中学3年生の時に、私から声をかけて、親子で一緒に受検しました。(娘は3級、私は準1級を受検し共に合格!)一人で勉強するより心強く、意欲が湧きました。
- 疲れたときや時間のない日は本を軽く眺めるだけにしておき、モチベーションを維持する。
- 毎日少しずつを必ず守るようにしていました。一度に沢山は長続きしないのがよく分かっていたので。
- 漢検準1級に合格すると担任している生徒の前で宣言してモチベーションを高めた。

「漢字が好き」という気持ちが、モチベーションになっているという方も見られました。

- 自分の場合は、書き問題を解いている時がたまらなく好きなので(とは言っても、学習効率を上げるため、紙に書いたりせず、頭の中でイメージするだけだったが)、まず書き問題に取り組み、気分が乗ってきた時に、読みや四字熟語のインプットをする、という流れで勉強を進めていた。
- 漢字がもともと好きだったので、勉強という意識はなかったです。新聞をよく読み、教本で四字熟語を集中的に勉強していたと思います。
- 純粋に漢字を知ることが楽しくて、時間があれば学習したかった。その結果家事がおろそかになったが、家族に宣言して短期集中で取り組み、みんなに応援してもらった。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

漢字学習を続けられている方のご参考になれば幸いです。

次のアンケートテーマは…「準1級・1級学習時の教材・辞書について」です。

以下のアドレスもしくは右記の二次元バーコードを読み取り、ご回答をお願いいたします。

https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_56/index.do

上記のアドレスにアクセスできない場合、メールにてアクセス用のURLか、アンケート回答用紙を添付ファイルにて送付いたします。もしくは郵送にてアンケート回答用紙を郵送いたします。お手数ですが、メールもしくはTELにてご請求ください。



アンケートの締切日は8月18日(金)です。

ご回答いただいた方の中から3名の方に500円分の漢検特製図書カードをお送りいたします。(当選者の発表は発送を持って代えさせていただきます。)

皆様のご応募を
お待ちしております!

聴講者・
発表者募集

第19回

漢検生涯学習ネットワーク会員向け研修会

参加費無料

日 時：平成29年 8月6日(日) 13時30分～16時30分(13時00分 受付開始)

場 所：アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段北四丁目2番25号)

【アクセス】地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅、地下鉄新宿線 市ヶ谷駅、JR中央線 市ヶ谷駅 徒歩2分

講 演 ▶ さとう こうえつ 佐藤 貢悦氏(筑波大学人文社会系国際日本研究専攻 教授)

プロフィール：北海道美幌町生まれ。筑波大学比較文化学類卒業。同哲学・思想研究科単位取得退学。文学博士。淑徳大学助教授等を経て、現職。北京語言大学、香港中文大学、広州中山大学等に留学。台湾国家図書館漢学研究センター、中央研究院近代史研究所の客員研究員ほか、天津南開大学、台湾政治大学、タシュケント東洋学大学、厦門大学等にて客員教授を歴任。主な著書に、『古代中国天命思想の展開—先秦儒家思想と易的論理』(学文社)、『気の比較文化—中国・韓国・日本』(昭和堂)、『日中韓同字異義小辞典』、『日中韓マナー・慣習基本事典』(ともに勉誠出版)など多数。

〈オブザーバー参加〉

おむ そ ぎん 嚴 錫仁氏(筑波大学人文社会系国際日本研究専攻 准教授)

プロフィール：韓国江原道束草(ソクチョ)生まれ。高麗大学哲学科卒業。韓国精神文化院韓国学大学院哲学・宗教専攻修士課程修了。筑波大学大学院哲学・宗教研究科博士課程修了。博士(文学)。比較思想の観点から日中韓の儒学思想史、家庭倫理思想を研究。主な著書に、『東アジアにおける日本朱子学の位相』、『日中韓同字異義小辞典』、『日中韓マナー・慣習基本事典』(ともに勉誠出版)など。

テーマ：『日中韓共同常用八百漢字表』と『日中韓同字異義小辞典』のこと

講演概要：日本、韓国、中国の政府が支援する日中韓三国協力事務局(本部はソウル)は、『日中韓共通語彙集』の編纂を計画している。その目的は、日中韓共通語彙の活用を通じて三国間の相互理解を深めるとともに、互いの意思疎通の円滑化に資すると同時に、三カ国の共通文化財産としての共通漢字・語彙に関する専門家相互の交流および研究を促進することにあるという(2016年11月北京で開催の「日中韓共通語彙集編纂会議」資料)。その基本作業の一環として、すでに『日中韓共同常用八百漢字表』が発表された。本講演では、『日中韓同字異義小辞典』を刊行した経験を踏まえ、『漢字表』および『語彙集』の意義と課題、さらには将来への展望について意見を述べる。

会員発表 ▶ 1名(発表は1人30分以内) ※会員発表後に、簡単な交流会を予定しています。

聴講者定員 ▶ 150名

申込方法 ▶ 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- 申込フォーム・・・右記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、インターネット経由で情報を入力してください。
https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_55/index.do
- Eメール・・・・・・必要事項(①氏名・②電話番号・③会員番号・④住所(送付先に変更がある場合のみ))をメール本文に記載して lifelong@kanken.or.jp までお送りください。



※上記の方法でお申込いただけない場合は、上記必要事項4点を記載し、FAXもしくは郵送にて当協会までお送りください。

※応募多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

参加の可否については7月末までにEメールもしくは郵送にてお知らせします。

申込締切日：平成29年7月14日(金)(協会必着)

研修会にて研究発表をされる
会員を募集します!
日ごろの漢字学習・研究の成果を
発表しませんか?

- ・ 発表時間：30分以内
- ・ 申込方法：発表内容の要旨(A4用紙1枚以内)をEメールもしくは、FAX、郵送でお送りください。

※希望者多数の場合は選抜し、7月21日(金)までに結果をお知らせいたします。

漢字まなび活動のご紹介

北海道 漢字同好会 学習会のお知らせ

7月の学習会

日時	平成29年 7月15日(土) 13:00~15:30
会場	道民活動センター かでる2・7 [940号室]
内容・プログラム	[①漢字文化を学ぶ]会員学習発表 [②体験!漢検]最新の漢検問題に全員で挑戦
参加費	500円

8月の学習会

日時	平成29年 8月19日(土) 13:00~15:30
会場	道民活動センター かでる2・7 [940号室]
内容・プログラム	[作問コンテスト]会員応募の問題を演習
参加費	500円

9月の学習会

日時	平成29年 9月16日(土) 13:00~15:30
会場	道民活動センター かでる2・7 [1070号室]
内容・プログラム	[漢検模擬試験]<1級><準1級><2級>ほか
参加費	500円

■申込方法・締切 初めて参加される方は前日までに下記までご連絡ください。

■問い合わせ先 事務局 TEL/FAX 011-691-5123
メール kanji0761@nifty.com

横濱 漢字の会 学習会のお知らせ

7月の学習会

日時	平成29年 7月8日(土) 9:15~12:00
会場	かながわ県民サポートセンター601号室
申込締切日	平成29年 6月30日

8月の学習会

日時	平成29年 8月12日(土) 9:15~12:00
会場	かながわ県民サポートセンター1503号室
申込締切日	平成29年 8月4日

※9月以降も第2土曜日を予定。

- 対象 どなたでも参加可
- 学習会内容 漢検2~1級まで各級のオリジナルの問題を会員が作成し発表しています。
- 参加費 無料
- 申込方法 締切日までにまいづれ横浜市 「横濱漢字同好会」よりお問い合わせください。

<http://yokohama.myp1.net/circle/00000001186/>

※会場の都合により定員を超える場合は、止むを得ずお断りすることがあります。ご了承ください。

書籍紹介

『謎の漢字 由来と変遷を調べてみれば』

中央公論新書 2017年 笹原宏之著
【紹介者】東京都 マヨネーズさん
生涯学習ネットワークの研修会ですっかり笹原宏之先生のファンになり、この本も楽しく読みました。1部では地名・人名に使われている謎の漢字が多数写真つきで紹介され、先生が生き生きとお話しになる様子が目に浮かぶようです。紙の辞書を引かなくなったと言われる電子時代ですが、辞書どころか手にできるすべてのものを題材にして、疑問点を徹底的に調べあげるそのお姿に、いまさらながら感銘を受けました。



『漢和辞典的に申しますと。』

文春文庫 2017年 円満字二郎著
「え?漢字ってこんなに面白いんだ!」という帯に惹かれて、この本を手に取りましたが、紹介文を裏切らない内容でした。1文字の漢字に対して見開き2ページのコラムが160本あり、通勤中の短い時間でも大変読みやすかったです。漢和辞典の編集者として働いてきた著者の視点で、時事ネタやCMの内容等を切り取った、親しみやすく興味深い内容のコラムとなっています。漢字にあまり興味のない家族や友人にもお薦めできる内容だと思います。



漢字クイズ 〈4×4字熟語〉

ペンネーム のんちゃん

16マスの漢字をすべて使って、
4つの四字熟語を完成させなさい。
(解答は6ページに掲載しています。)

〈例〉

一	二	千	来
一	二	千	石
一	秋	万	客
無	鳥	日	唯



一	石	二	鳥
一	日	千	秋
千	客	万	来
唯	一	無	二

(いっせきにちょう)

(いちじつせんしゅう)

(せんきやくばんらい)

(ゆいいつむに)

〈1〉

一	国	誤	変
士	機	命	臨
所	応	双	懸
行	無	試	錯



()

()

()

()

〈2〉

海	竜	裂	鼠
滅	嚙	窮	尾
山	離	千	千
蛇	支	猫	頭



()

()

()

()

〈3〉

摩	磨	土	土
穢	揣	来	鉄
臆	硯	離	重
厭	捲	穿	測



()

()

()

()

〈4〉

一	我	空	命
田	身	赤	坤
手	不	惜	拳
水	引	乾	擲



()

()

()

()

四字熟語の表記、読みは『漢検 四字熟語辞典〔第二版〕』による。

漢字教育サポーターリレーコラム

今号より、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さんによる、漢字や漢字教育サポーターに関するコラムを掲載いたします。
第1回は兵庫県にお住まいの、矢作詩子さんに執筆いただきました。

漢字と共に

第1期漢字教育サポーター 矢作 詩子

大阪にまた万博を、という動きがあるようだ。団塊世代の私は、`万博、`といえは1970年の大阪万博を思い出す。京都の大学生だったが、学生運動で混乱のキャンパスには行かず、ニュージーランド館で通訳ホステスをしていた。日本語を勉強中のNZ人ホステスに漢字を教えることになり、まず私がNZ情報を英語で習い、翻訳し、漢字交じりの文章で書き、教材を作っていた。英文タイプはあれど、パソコンや電子辞書など無い時代だから、紙の辞書をめくりつつ、すべて手書きだった。半年間で彼女たちは漢字を書きながらどんどん覚えていった。日本人として、漢字を強く意識した私の原点だ。

卒業後、日本語講師となり、1990年代に、夫の赴任地ジャカルタでも法律事務所で日本語指導をした。帰国した時は、全国で`漢検`を受ける人が急増していた頃で、常用漢字を外国人にちゃんと指導できるよう私も受検した。当時は準1級に合格し研修をクリアすると`漢字講師`の資格が与えられ、それから漢字と共に歩む人生が始まった。

東京では、漢検からの依頼で学習院生涯学習センターの『大人のための漢字学習』講座の開設に携わった。熱心な受講生に支えられて11年間担当したが、年代を問わず人気だったのが、身近な花の名前の由来だ。《ルリマツリ》を《瑠璃茉莉》と漢字表記すると、色、香り、歴史、文化にまで思いを馳せられる。兵庫県芦屋市に住む今、近くの芦屋川のほとりを散歩しながら、花や木の名前を覚えるのは、最高の脳トレだ。

昨年祇園に`漢字ミュージアム`が、職員の大変なご努力によりオープンした。テレビ番組・所ジョージの『笑ってコレえて!』(2016・11・16放映)で、東京第1期の同級生ブレットメイヤーさんと、第2期で関西サポーターの北條亮一さんと一緒に、俳優の松山ケンイチさんを案内した。この時`漢字は私の生きがいです、`と、おそろしくも全国に口走ってしまった。これからもわくわくする漢字の楽しさを伝えていきたい。



矢作さんからのご紹介で

今回は東京都の植木ゆりこさんのコラムを掲載します。

次回もお楽しみに!

漢字クイズ 解答 〈4×4字熟語〉

〈1〉

一	国	誤	変
士	機	命	臨
所	応	双	懸
行	無	試	錯

→

一	所	懸	命
国	士	無	双
臨	機	応	変
試	行	錯	誤

(いっしょけんめい) (こくしむそう) (りんきおうへん) (しこうさくご)

〈3〉

摩	磨	土	土
穢	揣	来	鉄
臆	硯	離	重
厭	捲	穿	測

→

揣	摩	臆	測
磨	穿	鉄	硯
厭	離	穢	土
捲	土	重	来

(しまおくそく) (ませんてっけん) (おんりえど) (けんどちようらい)

〈2〉

海	竜	裂	鼠
滅	嚙	窮	尾
山	離	千	千
蛇	支	猫	頭

→

海	千	山	千
支	離	滅	裂
窮	鼠	嚙	猫
竜	頭	蛇	尾

(うみせんやません) (しりめつれつ) (きゅうそごうびょう) (りゅうとうだび) (りょうとうだび)

〈4〉

一	我	空	命
田	身	赤	坤
手	不	惜	拳
水	引	乾	擲

→

我	田	引	水
不	惜	身	命
赤	手	空	拳
乾	坤	一	擲

(がでんいんすい) (ふしゃくしんみょう) (せきしゅくうけん) (けんこんいってき)

四字熟語の表記、読みは『漢検 四字熟語辞典〔第二版〕』による。

≡ 初めて1級に合格しました! ≡

漢検の最高峰1級に初めて合格した
会員の喜びの声をご紹介します。

平成28年度第3回の検定に174点で合格しました。小5で2級、小6で準1級を一発合格。目標にしていた「小学生で1級合格」を3度目の挑戦で達成しました。1級も一発合格を目指しましたが、いざ問題用紙を開けてみると其の難しさに驚愕。結局116点しか取れませんでした。2回目も137点と振るわず。

3回目は勉強方法を変更し、問題集を解くだけでなく、マイ辞書作りに着手。次回検定迄の4ヶ月で「漢検漢字辞典」、白川静「字通」、三省堂「例解新漢和辞典」の3冊を駆使して部首別に構成。苦手だった四字熟語は「漢検四字熟語辞典」を最初から最後まで声に出して読み、覚え難いものは何度も紙に書きました。机上の勉強許りではなく、立命館での「第1回漢字教育公開研究会」への参加や、漢字ミュージアムへ行き一日中漢字に親しむ事も楽しみました。検定の1週間前にインフルエンザに罹り乍らも、合格通知を手にした時は感無量でした。

今後は、漢字の勉強で得た語彙力や知識を活用し、充実した中学校生活を送りたいです。

(大阪府 北さん)

<北さんへのコメント>

小学生での1級合格、大変素晴らしいです!知識の習得だけではなく、イベントに参加したりミュージアムにお越しいただいたり、楽しみながら漢字に向き合っていた様子が伝わってきました。中学校に進学されても引き続き漢字に親しんでいただければ嬉しいです。

平成28年第2回検定で1級に初合格しました。点数は161点でしたが、初受検で合格することができました。

私自身の学習上の工夫は、一つ目は、試験日から逆算して勉強計画を立てたこと。ある程度勉強して自信がついたら出願するのではなく、28年度第2回の試験に間に合うように勉強ノルマを消化しました。

2つ目は、ノート作成の時間を短縮したこと。漢字・熟語の意味、当て字の読みなどはexcel・wordでまとめました。ファイルはタブレットに入れて、通勤時間や昼休みなどの隙間時間で繰り返し読みました。

3つ目は、過去問題を過去に遡ってできるだけ多く手に入れたこと。過去問は、分野別精選演習と完全征服をマスターした後に取り組みましたが、どの回の問題も190点以上とれるまで繰り返ししました。また、問題集や過去問題をマスターした後は、新問対策に取り組みました。具体的には、過去に出題された読み問題について、他の読み方(音読み・訓読み)を覚える、1級配当の四字熟語を全て覚える、ネットや辞書を検索して類義語・対義語の語彙を増やす、といったことです。

今後は、1級の学習を通して身につけた知識を生かして、文学・歴史などの教養を深めていければと思います。

(東京都 奥隅さん)

<奥隅さんへのコメント>

目標の検定日での合格、おめでとうございます。おそらく、問題傾向を的確に分析され、効率良く学習されていたのだと推察いたします。お仕事と並行しながら1級合格を目指している方には、「勉強ノルマ」の内容、非常に気になるところではないでしょうか。

平成27年度第3回の検定で合格しました。漢検は受けたことがなかったのですが、「受けるなら1級」と決めて勉強を始めました。

まず準1級の内容を、受検はしませんが突き詰めて、それから1級の勉強に入ろうと考えました。基準は過去問で180点以上。想像よりも大変でしたがクリアできたので、翌日、試しに全く勉強しない状態で1級の過去問をやってみると34点。合格は遙か彼方に感じられました。勉強を始めると、見たこともない字や熟語の連続。霧の中を進むようでした。

受検1回目は5点不足。この差を縮めるべく弱点を克服していくのですが、毎回新たな課題が出現。根気のいる作業が続きました。特別な勉強はしませんでした。ノートにまとめたものは徹底して覚えました。

そして迎えた6回目。四字熟語でほぼ満点を取ったことも点数に大きく寄与し、168点で合格できました。初めて手応えがあった回でした。合格証書が届いたとき、それまで協力・応援してくれた家族に、感謝の言葉とともに報告しました。

以後は受検せずに今日に至りますが、また受検するつもりです。漢字の追究を自分なりに続けていきたいです。合格はそのきっかけであり、スタートに過ぎないと思います。

(新潟県 中島さん)

<中島さんへのコメント>

準1級から1級の壁を超えるのは、かなり大変だったかと思いますが、着実に勉強を進められたのですね。漢字に造詣の深いネットワーク会員の方々も多くいらっしゃいますので、是非会員の方々ともご交流いただきながら、漢字の追求を続けていただければ幸いです。1級のご受検、またお待ちしております。

会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしています。



1 級に初めて合格しました!

貴方の合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「貴方の」経験をご投稿ください。

投稿内容：①いつ合格したか
②何回目の挑戦での合格だったか
③合格に向けて工夫した事、励みになった事
④合格した時の気持ち、感想
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内

※対象：平成27年度第3回(2月)～平成29年度第1回(6月)の検定で初めて1級に合格された方

書籍紹介

漢字・言葉に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

投稿内容：①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年
⑤お薦めの理由(250字以内)

漢字クイズ・パズル

会員の方々の知識を活かした、クイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

投稿内容：①問題と②解答(未発表作品に限る)
※例：漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、子供向け漢字クイズ等

アンケートテーマ募集

準1級・1級合格者の方々に聞いてみたいことはありませんか?アンケートの結果は会員通信にてお知らせいたします。

投稿内容：アンケートで聞いてみたい内容
(学習に関する疑問・質問等)



「漢字を学ぶ仲間」募集板

一緒に学習される仲間を募集したい方は、会員通信で募集可能です。

投稿内容：①募集内容や自己紹介 ②公開しても良い連絡先(メールアドレス・電話番号等)

イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

投稿内容：①日時 ②場所 ③内容 ④参加費
⑤問い合わせ先(担当者名)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる可能性があります。

投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

- ①会員番号
- ②氏名(ペンネームも可)
- ③電話番号
- ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**
生涯学習ネットワーク担当
E-Mail: lifelong@kanken.or.jp
FAX: 075-532-1110
郵送: 〒605-0074
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：平成29年8月18日(金)

- ※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。
- ※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。
- ※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。
- ※すべてのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。



公益財団法人 **日本漢字能力検定協会** 本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地
※「漢字検定」「漢検」は登録商標です。無断転載・コピー不可。

インターネットで漢検情報を!!

漢検

検索



<http://www.kanken.or.jp/>

0120-509-315

月～金9:00～17:00(祝日・お盆・年末年始を除く)

※検定日とその前日の土・日は窓口を開設

※検定日・申込締切日は9:00～18:00

